



Good food, Good life

プレスリリース

ヴェヴェー発、2022年1月27日

ネスレ、児童労働のリスクに取り組み、農業従事者の収入を向上させ、カカオの完全なトレーサビリティを実現するための革新的な計画を発表

ネスレは、カカオ生産における児童労働のリスクに取り組む新たな計画を本日発表しました。この中核をなすのは革新的な収入向上プログラム (income accelerator program) であり、カカオ農家の生計向上、児童の就学の奨励を目的として、再生農業の実践とジェンダー平等を推進していきます。児童の就学や剪定などの一定の活動を行ったカカオ農家には奨励金が支払われます。ネスレのカカオ製品の完全なトレーサビリティとセグメンテーションを実現するため、ネスレの新たな計画にはカカオのグローバル調達の変革も含まれています。ネスレは、カカオのサステナビリティへの取り組みを拡大するため、現在の年間投資額の3倍以上となる総額13億スイスフランを2030年までに投資する計画です。

収入向上プログラムとは、より持続的なカカオ栽培に移行できるように農業従事者やその家族を支援する新たなアプローチです。報奨金により、社会的、経済的なレジリエンス(困難に負けない力)を着実に築く活動や農法を奨励します。この新たなアプローチにより、カカオ農業世帯には生産するカカオ豆の量や品質だけでなく、環境や現地コミュニティへの貢献にも応じて報酬が支払われます。報奨金は、コートジボワール政府やガーナ政府によって導入されたネスレが支払う割増金や、ネスレが認証カカオに支払う割増金に上乗せされます。カカオは、レインフォレスト・アライアンスのサステナビリティ・アグリカルチャー・スタンダードに照らして独立した監査を受けており、農業従事者と現地コミュニティの社会面、経済面、環境面での健全性を推進するものです。

カカオ農家のコミュニティは、農村部の貧困の拡大、気候リスクの増大、金融サービスや水、医療、教育などの基本的なインフラへのアクセス不足など膨大な課題に直面しています。これらの複雑な要因が、家族経営の農場で児童労働が発生するリスクの一因となっています。ネスレの新たなイニシアチブは、各国政府をはじめとするパートナーと協力し、有望なパイロットプログラムを土台として、児童労働の根本的な原因に焦点を当てるものです。

ネスレ S.A. CEO マーク・シュナイダーは、「私たちの目標は、特に貧困がまん延し資源が不足している地域で増え続けているカカオ農家の世帯に、目に見えるプラスの影響をさらに強め、また長期的に彼らが直面している生活所得との格差をなくす支援を行うことです」と述べました。「ネスレは、カカオを持続可能に調達する長年の取り組みに基づいて、児童の就学、女性のエンパワーメント、農法の向上、資金調達の円滑化などを引き続き支援します。ネスレは、政府、NGO、その他カカオ業界関係者とともに、カカオ農家の生活を向上させ、子どもたちが安全で健全な環境で学び、成長する機会を提供できると確信しています。」

収入を大きく増やす報奨金の創設

このプログラムは、農作物の生産性を高め、さらなる収入源を確保する活動に報酬を与えるものであり、生活所得との格差をなくし、児童の保護を支援することを目的としています。この活動に取り組むことで、農家世帯はプログラムの最初の2年間、年間最大500スイスフランの収入を得ることができます。当初、報奨金を高くすることで、将来の影響を高める優れた農法の導入を加速することができます。

その後、プログラムが具体的な成果を上げ始めた時点で、この報奨金は250スイスフランに平準化される予定です。これはカカオの販売量に応じて支払われるのではなく、小規模農家も含めて誰一人取り残さない有意義な支援です。また通常とは異なり、家計や育児を担う農業従事者の配偶者にも報奨金を提供します。このプログラムでは、支払を農業従事者と配偶者の間で分けることで、女性のエンパワーメントとジェンダー平等の向上を支援します。ネスレが奨励する活動の例は次の通りです。

- 世帯内の6から16歳のすべての子どもの就学
- 作物の生産性を高める剪定など、優れた農法の実施
- シェードツリーの植樹など、気候変動への耐性を高めるアグロフォレストリー活動の実施
- 他の作物の栽培、鶏などの家畜の飼育、養蜂、キャッサバなどの加工品などを通じて、多様な収入を創出

支払は、ネスレのサプライヤーから受取人へのトレーサビリティが直接確保された、安全な携帯振込サービスによって行われます。年間を通じたキャッシュフローは難しい場合が多いことから、報奨金は最も必要とされる時に配布されます。これは、農業従事者の意見によると、新学期や雨季の前が該当します。国際カカオイニシアチブ、レインフォレスト・アライアンスなどの第三者機関が、ネスレと協力して状況を監視します

農業従事者が持続可能で拡張性のある農法を導入するように支援

2020年にコートジボワールで1,000の農業従事者を対象に実施した最初のパイロットプログラムの良好な結果を踏まえて、ネスレは2022年、コートジボワールでプログラムを1万世帯に拡大、2024年にはガーナに拡大する予定です。その後、テストフェーズの結果を評価して必要に応じて適合させ、2030年までに自社のグローバル カカオ サプライチェーンにおけるすべてのカカオ農家世帯を対象とする予定です。

ネスレは、農業従事者が持続的な変化を起こすためのリソース、研修、また社会的、財政的なシステムを確保できるよう以下の方法で支援します。

- 既存のモニタリングと改善要請システムを強化、児童労働のリスクの特定、阻止、対処、また就学率の向上を支援
- [ジェンダー アクション ラーニングシステム](#)を通じて、家計や起業に関する研修を世帯に提供
- 毎年特定の協同組合内に剪定や有益な農作業を行う地域グループを組織、研修を実施
- 農業従事者とその配偶者に収入を多様化する機会を提供
- 女性を中心に、村内貯蓄貸付組合 (VSLA) の設立を支援、貯蓄を奨励、小規模ビジネスの機会に対して融資を提供

農業従事者や農業組合のフィードバックや意見、また第三者機関による継続的なデータ収集や評価は、今後さらに多くのコミュニティに対して規模を拡大する際の情報提供、修正や改善のために活用される予定です。さらに、国際的なサプライチェーンの持続可能性の向上に取り組む有力な団体、[IDH\(サステナブル・トレード・イニシアチブ\)](#)が運営するマルチステークホルダー戦略アドバイザー委員会が独立した監視を行います。

カカオを農場から工場に至るまでトレース

プログラムの一環として、ネスレは、カカオ製品の原産地から工場に至るまで、完全なトレーサビリティとセグメンテーションを実現するため、カカオのグローバル調達を変革します。この新たな取り組みは、ネスレや広範な業界のサプライチェーンの変革を支援するものです。ネスレは、この革新的なプログラムにより調達したカカオを使ったさまざまな製品を導入、カカオ農家世帯の生計向上と児童保護を支援する機会を消費者に提供します。これは2023年、「キットカット」製品の一部から開始予定です。

「ネスレの活動は、私たちにとって身近な重要なテーマにおいて変化を起こすきっかけとなります。顧客、従業員やコミュニティが、企業がその共通価値を実現することをますます期待する時代において、業界全体で説明責任と透明性を推進することになります」と、エグゼクティブ・バイスプレジデント オペレーションズ責任者 マグディ・バトは述べました。「トレーサビリティを大規模に向上することで、消費者のネスレ製品に対する信頼を高め、責任ある持続可能な方法で調達されたカカオに対する需要の高まりに応えていきます。」

この発表は、カカオ生産における児童労働のリスクに取り組むネスレの長年の取り組みに立脚するものです。ネスレは、2009年から「[ネスレ カカオプラン](#)」を通じて、サステナビリティに投資しています。2012年から制定された堅牢な[モニタリングと改善要請システム](#)を通じて、14万9,443人の子どもが[児童労働のリスク](#)から保護され、53の学校が建設または改修されました。このシステムは、現在、企業がサプライチェーンを監視する際の業界標準となっています。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

報道関係者の皆様	Christoph Meier	Tel.: +41 21 924 2200	mediarelations@nestle.com
投資家の皆様	Luca Borlini	Tel.: +41 21 924 3509	ir@nestle.com